

平成27年度施策評価調書

整理番号	25
評価担当課	経済部営業戦略室営業戦略課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	観光事業の充実		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	6	観光の振興

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	観光組織の充実を推進し、各種イベントの活性化を図るとともに、合宿の受け入れや体制の充実を図る。 観光ボランティアなどを中心とした観光ホスピタリティ運動の展開や市民参加型の観光イベントを推進する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	2012年に名寄市観光振興計画を策定し、「交流人口」の増加を図るため地域資源を活かした事業を推進。推進組織として名寄市観光交流振興協議会を設立し、4部会(名寄ブランド推進、ひまわり、ホスピタリティ、交流推進)による観光振興を推進。
施策の課題	これまでに一律的な観光施策は多様化したニーズに対応したものではなく、今後は広域観光ルートの開発、着地型観光を推進する必要がある。 イベントに関しては、市民には定着しているもののイベントによっては参加人数は減少傾向にある。 現在、名寄と風連に観光協会があり、名寄市としての観光推進にあたり統合も検討。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
観光入込数	宿泊、イベント、観光施設への観光入込数(千人)	目標値	587.1	616.4	645.8	
		実績値	606.8	534.0	392.5	
		進捗率	103%	87%	61%	
宿泊者数	宿泊客の延数(千人)	目標値				
		実績値	62.8	31.9	37.6	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
上川管内入込数	上川管内の宿泊、イベント、観光施設への観光入込数(千人)	目標値				
		実績値	17,374.8	17,947.4	18,109.7	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
C	多様化した観光ニーズの中で、着地型観光等のメニュー開発の遅れ、単一市町村での実施にも限界がある。今後、道北観光連盟など広域での連携の中で、観光客に満足度の高いメニューの開発が必要。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

名寄市観光振興計画を基に、名寄市観光交流振興協議会やなよろ観光まちづくり協会、風連まちづくり観光が中心となり事業を推進。道北観光連盟、上川地方観光連盟など観光関係機関との連携を強化。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり
観光施策の推進は、計画などの進捗から判断すると概ね順調と判断できるが、1次評価では改善も視野にということであるので、1次評価どおりとする。

8 2次評価の意見等

B評価とする。外部評価では概ね順調と言えると判断され、観光振興計画や戦略などで多様なニーズから判断すると概ね順調と判断する。

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	観光事業推進団体補助事業	なよろ観光まちづくり協会、風連まちづくり観光への支援	39,744	a	b	b	a	a	B		
2	観光振興事業	名寄市観光交流振興業議会(ブランド、ひまわり、交流部会)への支援	6,360	a	b	b	b	b	B		
3	道の駅なよろ管理運営	指定管理者による道の駅施設の維持管理を支援	14,651	a	a	b	b	b	A		
4	ピヤシリススキー場管理運営事業	指定管理者によるピヤシリススキー場の維持管理を支援。スキー場整備。	59,610	a	b	b	a	b	B		
5											
6											
7											
8											
9											

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

ふるさと大使、智恵文沼公園管理運営

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	25	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	観光事業推進団体補助事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	6	観光の振興
		基本事業	2	観光事業の充実
		実施計画事業	1	観光組織の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄市の観光振興の推進を目的とし、地域資源を活用した「交流人口の拡大」視点に立ったまちづくりを行う。 広域観光の推進や各種イベントの活性化を図る。			
対象(何を又は誰を)	市民、観光客			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	なよろ観光まちづくり協会、風連まちづくり観光への観光推進事業活動に対する支援を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	通年観光に向けた観光誘致の推進。市民の満足度アップ、名寄市の知名度向上、観光関連人材の連携・育成。			
事業実施主体	なよろ観光まちづくり協会、風連まちづくり観光			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H14年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市観光振興推進事業補助金要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 支援件数(観光協会補助金、負担金)	件	目標	2	2	2	2	
			実績	2	2	2	—	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 イベント等の開催件数	件	目標	6	6	6	6	
			実績	6	6	6	—	
	2 各種まつり・イベント等の開催件数		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	35,580	37,731	39,744	40,302	観光協会負担金・補助金 2件 39,744千円 ・なよろ観光まちづくり協会 31,164千円 ・風連まちづくり観光 8,580千円
国道支出金				19,786	
地方債					
その他					
一般財源	35,580	37,731	39,744	19,186	
人件費	2,005	1,989	1,989	1,989	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30	
総事業費	37,585	39,720	41,733	42,291	
対前年比(%)	—	106	105	101	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	17,790	18,866	19,872	—
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成23年夏公開の「ひまわり畑」を舞台とした映画「星守る犬」の効果も、平成24年にロケセットの解体等により減少。
改善点	指摘事項 有 () —

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は名寄市総合計画に記載されている事業であり、平成14年4月から観光振興のソフト事業の多くを観光協会に移管している。ピヤシリ観光を含めた日進地区の開発部門は行政が担うこととなっているが、観光事業の充実を図る上で、事業を推進する組織の充実は重要であり、今後も事業の継続が必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	市内イベントの開催や観光事業の新たな取組を支援する上で、観光組織の充実は重要であり補助金・負担金による支援は運営基盤の安定・強化を図る上で有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	平成23年度から人件費等の運営経費分を負担金とし、イベントやパンフレット作成などにかかる経費を事業ごとに補助金として支出している。事業内容を個別に精査しコスト削減に努めている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	交流人口の拡大、地域の活性化を図ることを目的に観光を推進しており、全市民を対象としたイベントの開催など、受益者に偏りがなく公平性は保たれている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	名寄市の特産品を使用したイベントの開催や、地域資源の雪を活かした冬のイベントの開催などを実施。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	現状、市民に満足いただけるイベントの開催などを行っているが、交流人口の拡大といった観点からの観光に対する取り組みが必要。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	広域での連携のもと、着地型観光の旅行商品の開発、パンフレットの作成等を行う。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	25	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	観光振興事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	6	観光の振興
		基本事業	1	観光の開発
		実施計画事業	1	観光資源の活用・充実と開発整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄市の知名度向上及び道内外からの交流人口の拡大を図り、観光資源を活かした各種観光プロモーションなどの事業を展開し、地域経済の活性化を目指す。			
対象(何を又は誰を)	名寄市民・道内外の観光客			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	観光キャラクターや地域資源を活用した、名寄市の知名度向上のPRや観光プロモーション等の実施。ひまわり観光による観光客の誘致。市民モニターツアー等の実施。			
意図(どのような成果を期待しているか)	交流人口の拡大、名寄市の知名度向上、地域経済の活性化。			
事業実施主体	名寄市観光交流振興協議会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H24年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市観光振興推進事業補助金要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	活動指標	1			支援件数(観光推進事業補助金)	件	目標	4	4
実際に支援を行った件数			実績	4	6		4	—	
2				目標					
				実績					
3				目標					
				実績					
成果指標	1	キャラクター活用件数	件	目標	50	60	70	80	
		なよろう着ぐるみ貸出件数		実績	43	81	83		
	2	ひまわり観光の活用	人	目標	30,000	31,000	32,000	33,000	
		ひまわり観光入込数		実績	30,120	25,524	25,150	—	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	8,829	8,219	6,360	6,460	名寄市観光交流振興協議会 6,360千円
国道支出金				6,460	・ご当地グルメ推進事業 1,403千円
地方債	8,829	8,219	6,360		・キャラクター活用事業 188千円
その他					・ひまわり観光推進事業 3,983千円
一般財源					・交流推進事業 787千円
人件費	1,337	1,326	1,326	1,326	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	10,166	9,545	7,686	7,786	
対前年比(%)	—	94	81	101	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	2,207	1,370	1,590	総事業費/支援件数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	事業を推進する上で、市・民間企業・団体などが加盟している名寄市観光交流振興協議会は、広く意見を集約し実行することができるため、今後も事業の継続が必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	名寄市の知名度向上のため、地方でのPRは不可欠でありキャラクター(なよろう)や、ご当地グルメ(なよろ煮込みジンギスカン)を使用したイベント出展等は有効的である。書籍などでも名寄市の「ひまわり畑」は取り上げられ、観光客誘致に貢献している。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	事業ごとに毎年精査を行い適正なコストで事業を推進。一定程度の効果が表れた事業に関しては減額し、新たな事業の取組を行う。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	b	「ひまわり畑」は観光客のみならず市民の方も多く訪れている。ご当地キャラクターの「なよろう」は市民からも親しまれ、市内イベントへの参加や貸出しも行っている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	名寄市観光振興計画をもとに、検証事業(なよろの水、市内消費拡大)も実施。事業の精査を行い実施。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	H24度に設立した、名寄市観光交流振興協議会は4部会により幅広く名寄市の観光に係る事業を実施。この3年間で事業の検証なども実施したため、事業の見直し、新規事業の取組が必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	H26度までの3年間、名寄市観光交流振興協議会は4部会(ブランド、ひまわり、ホスピタリティ、交流)にて事業を実施。H27年度から部会を統合(名寄ブランド推進、交流ホスピタリティ)し、より広い意見を集約し実行性のある活動を行う。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調査書

整理番号	25	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	ピヤシリスキー場管理運営事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	6	観光の振興
		基本事業	1	観光の開発
		実施計画事業	1	観光資源の活用・充実と開発整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄市の観光資源である日本一の雪質を利用したパウダースノーのスキー場を安全に整備・運営し、市民の健康増進、満足度向上、道内外からの交流人口拡大を目的とする。				
対象(何を又は誰を)	名寄市民・道内外の観光客				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	指定管理者である名寄振興公社へ指定管理料を支出。ピヤシリスキー場を安心安全、快適に利用していただくための運営を行う。名寄市では老朽化した設備の補修・整備を実施。				
意図(どのような成果を期待しているか)	安全を確保し、快適性を高める。				
事業実施主体	名寄市、名寄振興公社				
事業実施方法	直 営 部委託 全部委託 補助等 請負 その他()				
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	有 (終期 年度)	無
根拠法令・条例等					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	リフト輸送 リフト輸送人員	目標					
			実績	428,651	474,671	475,157	—	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	59,986	107,402	59,610	71,736	ピヤシリスキー場	
国道支出金					・指定管理委託料 43,478千円	
地方債					・敷地使用料 2,403千円	
その他					・圧雪車整備 1,363千円	
一般財源	59,986	107,402	59,610	71,736	・スキー場整備工事 7,424千円	
人件費	2,005	1,989	1,989	1,989	・備品購入(アンプ、冷蔵冷凍庫) 4,547千円	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30		
総事業費	61,991	109,391	61,599	73,725		
対前年比(%)	—	176	56	120	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	0.140	0.226	0.125	—	総事業費/リフト輸送人員数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	スキー、スノーボード人口の減少。バックカントリーなど、より自然の中を滑る傾向にシフト。
改善点	指摘事項 有 () —

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	スキー場を運営する上で、専門的な知識や経験が必要とされる場面が多く、指定管理者に委託することにより、安全・安心なスキー場運営を可能としている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	雪質日本一の観光資源を活かし、初心者から上級者まで広く親しまれるスキー場運営は有効と考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	スキー場は老朽化が進んでおり、安心・安全を基本とする整備を実施。誘客に繋げるコース整備等は最小限に留め、最小限によるコストで最大限の効果が表れるよう実施。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	市民の健康増進などスキー場を多くの方に利用いただいており、仕事終わりにスキーを楽しむようナイター営業も行っている。 スキーの日なども実施し広く市民の方に利用いただける企画も行っている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	スキー、スノーボード人口の拡大、魅力あるスキー場とすることにより更なる来場者が見込める。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	安心・安全なスキー場運営は出来ているものの、更に魅力あるスキー場とするためには、新たな企画やゲレンデ整備なども必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	現状の安心・安全を基本とした整備を進めつつ、市民はもとより道内外、海外からも来ていただけるようなゲレンデ・コース整備、企画の実施。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
—	—

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	25	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	道の駅管理運営事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	6	観光の振興
		基本事業	2	観光事業の充実
		実施計画事業		

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	観光振興と交流人口の拡大を図る拠点として主に道路利用者へのサービスや情報を提供する。			
対象(何を又は誰を)	道路利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	指定管理者(株式会社もち米の里ふうれん特産館)に指定管理料を支出。道の駅での各種サービスや道路・観光情報の提供、イベント、施設管理等の運営を行う。名寄市は一部設備の整備などを実施。			
意図(どのような成果を期待しているか)	利用者の利便性の向上と、名寄市の重要な観光拠点として、利用者の満足度を高める。			
事業実施主体	名寄市、株式会社もち米の里ふうれん特産館			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	18年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
成果指標	1	施設入込数	目標					
			実績	419,546	496,063	498,698	500,000	
	2	トイレ、レストラン等施設延べ利用者数	目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	13,494	13,207	14,651	13,427	道の駅管理運営事業費
国道支出金					旅費 284
地方債					需用費 357
その他	1,210	1,213	1,209	1,218	役務費 35
一般財源	12,284	11,994	13,442	12,209	委託料 12,332
人件費	835	829	829	829	備品購入費 637
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	負担金及び補助金 53
担当職員数	0.13	0.13	0.13	0.13	
総事業費	14,329	14,036	15,480	14,256	
対前年比(%)	—	98	110	92	コストの算出方法
事業コスト					総事業費/入込数
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () —

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	公の施設として指定管理者に管理運営を委託している。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	全国的にも道の駅への認知度が高まる中、名寄市の重要な観光拠点に位置づけられる施設である。利用者の休憩施設である一方、市の観光施策、イメージアップのうえで有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	旅行雑誌の人気度ランキングで上位にあり、利用者が毎年高まる中、ホスピタリティの質を維持するために指定管理者は委託料のなかでの創意工夫を実施している(施設使用料も徴収)。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	多くの道路利用者に利用してもらい、全道的にも人気が高い観光拠点となっていることで、交流人口の拡大、名寄市の知名度向上に大きく寄与している。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	指定管理者の積極的な取り組みにより、利用者数は高いレベルになっている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	指定管理者の努力により、道内でも人気の高い「道の駅」であり、入込数も増加している。ただし、これからもスタッフの技術向上、増加する外国人観光客への対応など、一層のホスピタリティの維持向上が求められるところである。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
—	—

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり